

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	49	学校名	恵那高等学校
------	----	-----	--------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	S T E A M教育や教科等横断的な学びを推進し、文理を融合した総合知を培う高校として 全ての学校生活における探究的な学びを通して 地域や国際社会に貢献できるリーダーの育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する (１) 生きる知恵をもって社会でリーダーシップを発揮する生徒を育成する (２) 自ら問を立て「探究」する生徒を育成する。 (３) 心に故郷を抱き、世界を見据える生徒を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	『すべては「ときめきと感動」から』 ・ 生きる知恵をもって社会でリーダーシップを発揮する生徒 ・ 自ら問いを立て「探究」し続ける生徒 ・ 心に故郷を抱き、世界を見据える生徒	
	生徒をどう 育てるか 【C P】	『一歩踏み出す勇気』 ・ 知的なときめきを育む質の高い授業と「探究」する学びの場の提供 ・ 自己の生き方・あり方を考えられる多様な学びの場の提供 ・ 一人一人が輝き、仲間とつくる感動の場の提供	
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	『出会いを大切に』 ・ 基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒 ・ 出会いを大切に、志をもって自分を伸ばそうとする生徒 ・ 大学進学を目指す生徒	
学校の抱える課題	・ 生徒の探究活動を支える授業改善（探究活動と授業の往還） ・ 生徒の主体的な意思決定を通した積極的な生徒指導と教育相談の充実 ・ 生徒が自らの「探究活動」を具体的な進路探究につなげ、主体的な学習習慣の確立につなげることができる手立ての研究 ・ 自ら学び自ら探究する能力を身につけさせ、生きる力の育成 ・ 科学的・主体的に探究を深化させる探究者を育成する理数教育システムを構築と地域の理数教育の水準の向上		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	指導と評価の一体化を効果的に行うために、各教科の特性や専門性を踏まえた取り組みを進める。 「恵那高探究エレメント」を定め、探究の力を育成する各教科の授業改善を全職員へと広げていく。	
	進路指導	新課程で初めて実施される共通テストを各教科で徹底的に分析し、来年度の授業や自主講座の改善を図っていく。 探究活動全体を通して決定した志望先を、後期入試まで粘り強く目指す生徒の姿を育成する。	
	生徒指導	Ena School Timeは今年度も継続する方針であるが、期間や時間の設定については検討していく。 持続可能な学校行事のあり方について、特に学校祭体育の部の屋内開催に向けた準備を万全にする。	
	その他	普通科と理数科を対象とした発表会を全校規模で行うように年間計画に配置する。またそれが可能となる年間指導計画を全学年次について立案する。 生徒の活躍や高校の取組みを効果的に広報できるようSNS（Instagram）の活用を検討し運用の準備をする。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	学習評価が、教員の授業改善と生徒の学習改善に効果的につながるよう、教科の特性・専門性を踏まえて研究を行う。	施策Ⅱ-8	学校評価アンケート、生徒による授業評価、教員同士の相互評価				
	「恵那高探究エレメント」を定めて活用することで、教科・科目の授業において、生徒の教科固有の力とともに汎用的な力の一層の育成を図る。	施策Ⅱ-8	探究エレメント生徒アンケート、学校評価アンケート、生徒による授業評価				
	生徒に見通しを持たせ、主体的な選択をしながら学習に取り組むことができるよう支援する。	施策Ⅱ-8	学校評価アンケート、生徒による授業評価				
	各教科で「恵那高探究エレメント」の重点項目を定めて授業改善に取り組むことで、教員相互の学び合いをより活発にする。	施策Ⅳ-26	教員同士の授業参観、相互評価				
進路指導	授業・自主講座の改善のため、昨年度（新課程一年目）の入試情報を積極的に収集・還元する。	施策Ⅱ-8	学校評価アンケート、生徒による授業評価				
	保護者進路研修会や学年主催保護者会を通して積極的な情報発信を行い、家庭と協力して最後まで粘り強く志望校に挑戦する生徒を育成する。	施策Ⅰ-7	学校評価アンケート、保護者による授業評価				
	生徒の主体性を高めるための学習動画の活用を改善する。特に総合型学校推薦型対策の動画について、探究企画部と協力し、活用方法を工夫する。	施策Ⅱ-9	生徒の使用状況				
	恵那市中津川市主催の高校生合同企業説明会への参加を通し、地域を連携した進路探究を実施する。	施策Ⅱ-13	事後アンケート				
生徒指導	生徒が企画・運営するLHRを、「いじめ」をテーマにして実施する。	施策Ⅰ-3	実施後の振り返り				
	教育相談は、全体支援を目的とした予防的な企画を実施し、個別支援は早期に組織対応をする。	施策Ⅰ-3	全体支援の効果の検証（アンケート）				
	城陵祭活動の企画・運営を、集団や社会に参画し、人間関係を自主的・実践的に形成する機会にする。	施策Ⅰ-1	城陵祭実施後のアンケート結果				
	城陵祭（体育の部）の屋内開催を実現し、持続可能性のある学校行事の1つにしていく。	施策Ⅳ-20	実施後の振り返り				
その他	3年間を見通した探究活動の深化を図るため、他学年や他学科との定期的な交流機会を提供する。	施策Ⅰ-1	事後アンケート				
	地域課題へのグループ探究活動を通して、地域の魅力を仲間と再発見していく機会を提供する。	施策Ⅱ-8	事後アンケート				
	探究に不可欠なメタ思考の基盤を築く。このために情報と探究を統合した科目を開発、運用する。	施策Ⅱ-9	年間指導計画の検証 指導案、教材の完成				
	問題発見能力、探究力、社会性を伸長する。このために協働的で自立した課題研究を実施する。	施策Ⅱ-8	内発的な研究テーマの数 段階的評価とピア評価				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日